

## 2 会津坂下町人権教育実践の記録

### (1) 幼稚園・小学校・中学校の実践事例

#### ① 坂下南幼稚園の実践



1 坂下南幼稚園の教育目標

一人一人の幼児が、環境に関わりながら自己を発揮し、主体的に楽しく活動できる子どもの育成  
 ○げんきな子    ○なかよく遊べる子    ○考える子

2 人権教育に関する目標

友だちとなかよく元気に遊べる子を育てる  
 ○安心して過ごせる園・学校を目指す  
 ○地域・家庭が一緒になる  
 ○自分も他の人も大切に  
 ○互いのよさを認め、尊重し合う

3 坂下南幼稚園の取組

(1) 実践計画

月 日	内 容	備考
4月19日(木)	今年度の計画作成	全職員
4月～	あいさつ運動 ホワイトボードを活用した予定表の掲示 集会活動での発表体験	全員
4月～	花植え・栽培活動・飼育活動 ・花壇やプランターに花を植える ・ジャガイモ・サツマイモ・夏野菜の栽培 ・かいこやめだか、ザリガニなどの飼育	全学年
6月18日(月)	園内研修 「プール遊びの約束や身支度の仕方を知り、身につける」	4歳児
6月26日(火)	園内研修 「友達と思いを伝え合いながら一緒に遊ぶ楽しさを味わう」	5歳児
7月	実践 「ずっと頑張っていたんだよ」	5歳児
7月	6年生とのプール交流 「交流活動を通して、あこがれや感謝の気持ちを持つ」	5歳児 6年生
9月	中学生との交流 「一緒に遊んでもらう喜びや感謝の気持ちを持つ」	全学年 中学生
9月	祖父母感謝会 「感謝の気持ちや高齢者を大切にする気持ちを持つ」	全学年 祖父母
10月	高校生との交流 「サツマイモの収穫」	5歳児 高校生
11月	人権南の木「いいところみつけた」 「お家のみなさん、わが子のいいところ教えてください」	
11月27日(火)	5歳児と2年生との交流活動 「なかよし集会」	5歳児 2年生
11月30日(金)	人権教育公開保育 「なかよく遊ぼう」	5歳児 2年生
12月 4日(火)	園内研修 「友だちと一緒にルールのある遊びを楽しむ」	3歳児
12月21日	実践 「頑張れビームで応援するね！」	3歳児

(2) 人権を意識した保育の実践

実践事例1	「がんばれビームで応援するね！」 互いのよさを認め、尊重し合う保育
3年保育 3歳児	


平成30年12月 保育者 高野美樹

<幼児の姿>

- クラス構成 3歳児24名 (男児14名 女児10名)
- 友達と一緒に遊ぶ楽しさをわかり始めた反面、思いや考えを通そうとしてトラブルが増えている。
- A子: ままごと遊びが好きで、友達と繰り返し楽しむ姿があるが、クラスでの活動には消極的である。

<教師の願い>

- どの子も安心して自分らしさを出しながら、園生活を送ってほしい。
- 友達の気持ちに少しずつ寄り添うことができるようになってほしい。
- A子: 安心して園生活を送る中で、少しずつ自己発揮してほしい。

○幼児の姿 ●A子の姿 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">幼児の変容</span>	★環境構成と教師の援助 <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">教師の思い</span>
<p>&lt;12月&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室にて</li> <li>○二学期終業式前に、クラスのみinnで二学期に楽しかったことを発表する。</li> <li>○積極的に発表したがる幼児もいるが、なかなか挙手できない幼児がいる。</li> <li>●友達の発表をしっかりと聞いているが、自ら手を上げようとしなない。しかし、A子は何か言いたそうに教師をじっと見ている。</li> <li>●もじもじしながら小さな声で、交通安全教室での一場面を発表する。</li> <li>○普段あまり発表しないA子が発表し、教師や友達に認められたことで、発表に消極的な幼児も何人か発表をしようとする。</li> <li>●積極的な子が元気に手を上げる中、A子は手を上げずに教師を見ている。</li> </ul>	<p>★みんなを集め、話しやすい雰囲気を作る。頑張って発表している友達の話を聞けるように、相槌を打ったり共感したりする。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">A子は何か思いついているようなので発表してほしい。</p> <p>★A子にもどんなことが楽しかったか、問いかけてみる。</p> <p>★優しく見守り相槌を打つ。A子の思いを受け入れたり補足したりして、まわりの幼児にも伝わるようにする。</p> <p>★一通り発表が終わったところで、終業式にみんなの前で一名に発表してほしいことを伝える。</p> <p>★A子に「さっきとても上手に発表できたから、みんなの前でお話してくれないかな？」と問いかける。</p>

●笑顔で小さくうなづく。

○「ぼくもやる！」と、クラスみんなが教師の真似をしてA子に頑張れビームで応援した。

・遊戯室での終業式にて

●A子は終業式の中でマイクを向けられ、照れながらも発表することができた。

○まわりの幼児もA子の発表を真剣に聞いていた。

A子は、とても満足そうだ。また、まわりの幼児から「A子ちゃんのお話上手だった！パチパチだね！」など、認められたことで嬉しそうにしていた。

みんなの前で発表するA子に勇気をあげたい。

★「それじゃA子ちゃんに先生のパワーをあげるね。頑張れビーム！（ビームを出すポーズをする）」

★保育室に戻ってからA子の頑張りを大いに認めるとともに、「A子ちゃんどうだった？」とまわりの幼児に問いかけることで、友達からも認められ自信がもてるようにした。

#### <成果と考察>

- ・ 教師が幼児一人一人の思いを受け入れ、それを大切にしていって向き合っていくことで、幼児同士のかかわりやまわりの幼児にも育ちが見られた。幼児の発達を捉え、教師がモデルとなり導いていくことが重要である。
- ・ A子の気持ちや頑張る姿にふれたことで、友達を励ましたり頑張りを認めたりする良さをかんじることができた。

実践事例 2	「ずっと がんばっていたんだよ！」 自分も他の人も大切にする保育
3年保育 5歳児	

平成30年5月～7月 保育者 渡部実央

<幼児の姿>

- クラス構成 5歳児 30名 (男 17名 女 13名)
- 運動遊びに興味をもち、友達の姿に刺激を受けながら、自分なりに挑戦する姿が見られる。
- A子：できないことがあると不安になりやすかったり、周りに見せようとしなかったりする。

<教師の願い>

- 友達同士で頑張っている姿を認め合ったり、励まし合ったりする心地よさを感じてほしい。
- 体を動かしながら、自分なりの目的に向かって力を出す楽しさを味わってほしい。
- A子：自分なりに挑戦して頑張っている気持ちを大切に、自信をもってほしい。

○幼児の姿 ●A子の姿 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">幼児の変容</span>	★環境構成と教師の援助 <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">教師の思い</span>
<p>&lt;5月&gt;</p> <p>○鉄棒に興味を持ち、自分なりに出来ることに挑戦する。 「こんなことできるよ。」逆上がりができるようになり、自信を持ってやって見せる幼児もいる。</p> <p>●挑戦してみるが、「できない・・・」と言い、不安な表情を見せ、その場を離れてしまう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>教師の言葉掛けに対して、諦めずに何度も挑戦する。</p> </div> <p>&lt;6月&gt;</p> <p>●「できたー！」嬉しそうに逆上がりをして見せる。</p> <p>○「すごいね～！」とA子の姿を認め、逆上がりに挑戦する幼児が増えた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>できるようになった達成感や、教師や周りの友達に褒めてもらった嬉しさから、自信をもって取り組み、友達を誘いながら一緒に鉄棒に取り組む。</p> </div> <p>&lt;7月&gt;</p> <p>○B子が逆上がりに挑戦しているが、上手できない。</p>	<p>★鉄棒を取り出しやすいところに置いておく。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>年長児としていろいろな動きに挑戦してほしい。</p> </div> <p>★A子に、できなくても大丈夫であることを伝え、頑張っている姿を認める。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>できる、できないではなく、頑張る気持ちが大切であることや自分の頑張りを感じ、自信をもってほしい。</p> </div> <p>★A子に、今まで頑張ってきたA子の姿を具体的な言葉にして伝え、大いに認める。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自分の頑張りを感じながら、友達を励ましたり、自分が練習してきた中で得たコツを友達に教えたりしてほしい。</p> </div> <p>★A子の姿に刺激を受けて挑戦している幼児を励ましたり、A子の取り組んでいる姿を見せたりする。</p> <p>★B子が頑張っている姿を応援したり、少しでもできるようになったところを言葉にして伝えたりする。</p>

- B子の練習している姿を見て、「もっと力いっぱい足あげてみた方がいいよ。」など、応援している。
- B子は何度も挑戦し、「逆上がり、ひとりでできた！」と喜ぶ。
- B子の姿を見て一緒に喜び、「だって、B子ちゃんずっとがんばっていたんだよ！」と話す。

自分ができるようになったことだけを喜んでいたA子が、自信を持てたことで友達を応援する気持ちが芽生え、できたことを喜ぶだけでなく、友達の頑張っている姿に気付くことができた。

- 帰りの会でクラスみんなに、拍手をしてもらおうと、A子は嬉しそうにする。
- その後も、逆上がりに挑戦する友達に「もう少しだよ！」と励ます。
- B子「できたね！」と友達とできるようになったことを一緒に喜ぶ。また、クラスの中でも友達同士で「上手だね！」と互いを認めている。

B子は、自分がA子にしてもらったことを嬉しく感じたため、他の友達に対しても、同じように声をかけたり喜んだりするようになった。また、認め合える雰囲気クラスの中で出てきたこともあり、互いに認め合う姿が増えてきた。



★ A子の言葉を聞き、B子ができたことを一緒に喜びながら、友達の頑張りに気付いてくれるA子の優しさを認める。

★ A子が友達のためにずっと応援してくれたよさをクラスみんなに伝える場面を作り、友達を認める大切さをクラスみんなを感じられるようにする。

友達の優しい姿に気づき、相手を認める心地良よさを味わってほしい。

★ 友達同士で認め合っている姿を言葉にして幼児に伝え、相手の気持ちを大切にしている姿を認めていく。

#### <成果と考察>

- ・ 自分に自信を持つことができたことで、友達の姿にも目を向けることができた。また、教師に頑張っている姿を認めてもらったことで、友達の頑張っている姿にも気づき、認める言葉をかけるようになったと思われる。
- ・ 友達に対して優しさや思いやりのある姿が見られたときに、具体的な言葉にしてクラスみんなに伝える機会を作ったことで、クラスの雰囲気も変わり、互いに励ましたり、認め合ったりするようになった。
- ・ 自分の頑張っていることを自分自身が感じられたことや教師や友達に認めてもらった心地よさを感じたことで、他の人も大切にしようとする気持ちが芽生えたと思う。

実践事例 3	「なかよくあそぼう」 幼小連携活動をとおして、幼稚園児は小学生への憧れや就学に対しての期待をふくらませたり、小学生は園児の気持ちを考へて接することで、自分の成長に気づかせたりする保育・授業
3年保育5歳児・小学2年生（幼小連携）	

平成30年11月30日（金） 13:00～13:45

指導者 坂下南幼稚園 年長ひまわり組担任 角田 裕美

年長 ゆり組担任 渡部 実央

坂下南小学校 2年3組担任 一ノ関由紀子

#### 1 坂下南幼 期のねらい（IV期 11月～12月）

- 生活に見通しをもち、必要なことに気付いて取り組む。
- 遊びや生活の中で、友達と共通の目的に向かって工夫しながら取り組み、やり遂げた満足感を味わう。
- 身近な自然や事象を見たり、触れたりしながら、好奇心や探究心を深める。

#### 2 幼児の姿

- 縄跳びや鉄棒などに取り組む中で、友達のしていることが刺激になり、友達同士で教え合ったり、励まし合ったりしながら自分なりの目標に向かって挑戦する姿が見られる。
- 年少児や年中児に対して、優しく声を掛けたり、積極的に面倒をみたりしてくれる。
- 小学校の学習発表会を見たり、小学生との交流をしたりする中で、就学への期待や憧れの気持ちが高まってきている。

#### 3 児童の姿

- ☆子どもたちは活発で元気がよく、体を動かす活動に大変意欲的に取り組む。昼休みには、男女仲良くボール遊びやおにごっこ、固定遊具などで元気に遊ぶ姿が多く見られる。
- ☆遊びの中でもルールを守ってお互いに気持ちよく遊ぼうとする児童が多い。
- ☆下学年とのふれ合いでは、積極的に面倒を見ようとする児童が多いが、まだ自分のことで精一杯で、自分から関わるのが難しい児童もいる。

#### 4 本日のねらいと内容（○幼稚園 ☆小学校）

- 2年生との関わりを楽しむ中で、小学生への憧れや就学に対して期待する気持ちをふくらませる。
- 運動遊びに挑戦する中で、2年生に優しく教えてもらったり、励ましてもらったりする心地よさを感じる。
- ☆幼稚園児への関わりを通して、自分の成長に気づく。
- ☆なわとびの跳び方を幼稚園児に教えて一緒に練習したり遊んだりしながら楽しく交流する中で、園児の気持ちを考えながら接する。

#### 5 人権教育との関連（○幼稚園 ☆小学校）

- 交流の中で、2年生のよさを感じながら、小学生への憧れの気持ちをもてるようにする。また、優しくしてもらった心地よさを感じながら、一緒に活動する楽しさを味わえるようにする。

○2年生の姿に刺激を受けて、自分なりに挑戦してみようとする気持ちをもてるようにする。また、教えてもらったり、励ましてもらったりする嬉しさを感じながら、さらに意欲が高まるようにする。  
☆幼稚園児のあこがれるようななわとびの技を披露することで自分に自信を持たせ、自分たちの成長にも気づくことができるようにする。  
☆幼稚園児とのふれ合いを通して園児の頑張りを認めたり励ましたりすることで、他の人を認める態度を育てていく。

6 本日の活動「なかよく あそぼう」 (次頁別紙参照)

7 当日の保育の様子



8 考察 (○幼稚園 ☆小学校)

○2年生の関わりを楽しむなかで、優しくしてもらったり、励ましてもらったりする心地良さを感じることができた。  
☆幼稚園児との関わりを通して、自分の成長に気づくことができるようになってきた。  
☆なわとびの跳び方を幼稚園児に教えて一緒に練習したり遊んだりしながら楽しく交流する中で、園児の気持ちを考えながら接することができた。



(別紙)

6 本日の活動 「なかよく あそぼう」

時間	幼児の活動・反応	児童の活動	○保育者の支援の仕方・留意点      ☆教師の指導上の留意点 <u>人権に関すること</u>
13:00	<p>○縄跳びを持って、2年生が来るのを待つ。</p> <div data-bbox="498 346 1231 472" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1 はじめのあいさつ ・本日の活動の確認(ねらいの確認)      ・約束の確認</p> </div> <div data-bbox="667 483 1044 535" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>2 2年生の“技”披露</p> </div> <p>○2年生の技を見る。(比べる) ○自分のやりたい跳び方を決め、コーナーに移動する。(決定)</p>	<p>☆縄跳びを持って、遊戯室に入る。</p> <p>☆縄跳びの技のグループごとに、見せる。(活躍) ☆自分の担当するコーナーに移動する。(決定)</p>	<p>○不安をもつ幼児に寄り添い、安心して参加できるようにする。 ○☆前回までの交流が思い出せるような言葉掛けをし、本日の活動に期待がもてるようにする。 ○☆約束の確認では、小学生や幼児に聞きながら確認し、自分たちでも意識できるようにする。 ○☆ホワイトボードに、遊びの場の地図や終わりの時間を掲示し、見通しをもって活動を楽しめるようにする。 ○「すごいね!」「こうなりたい」という<u>憧れ</u>から、やってみたいという期待や意欲が高まるようにしていく。 ☆<u>自信を持って</u>発表できるように声をかける。 ☆指導してきた幼稚園児がスムーズに活動ができるように<u>優しく声をかけたり</u>手をつないで誘導させたりする。</p>
13:15	<div data-bbox="578 661 1151 714" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>3 グループに分かれ、縄跳びに取り組む。</p> </div> <p>○2年生に跳び方のコツを教えてもらったり、見せてもらったりする。(比べる) ○励ましてもらいながら、諦めずに頑張ろうとする。</p> <div data-bbox="290 903 608 1165" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>・じょうずにできるかな? ・できないなあ～。 ・2ねんせいの、とびかたをみてみよう。</p> </div>	<p>☆幼稚園児に優しく教えたり、跳んで見せたりする。 ☆上手くできない幼稚園児を励ます。(共感・共有)</p>	<p>○自分で目標を決めて取り組んだり、2年生の動きに刺激を受けて挑戦したりする姿を見守っていく。 ☆幼稚園児の様子を気にかけて、<u>進んで声をかける</u>ことができるようにする。</p> <p>○2年生と一緒に遊ぶ楽しさや、<u>教えてもらったことの嬉しさ</u>を感じられるような声掛けをし、保育者も共感していくようにする。 ○興味をもちにくい幼児へは、<u>2年生の姿に目を向けさせたり</u>、一緒に取り組んだりするなかで、取り組む姿を認めたり励ましたりしていく。 ☆よい関わりをしている<u>児童を称賛</u>したり、うまくできていない児童には関わりを促すなど交流の仕方を支援したりして交流することの楽しさを味わえるようにする。</p>
13:25	<p>○2年生に終わる時間を教えてもらい、一緒に遊戯室に行く。 ○大縄跳びに挑戦する。</p> <div data-bbox="290 1354 608 1690" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>・じょうずにできるようになってうれしい! ・2ねんせいと、たくさんあそぶことができて、たのしかったな。</p> </div>	<p>☆終わりの時間になることに気づき、幼稚園児に教え、一緒に遊戯室まで移動する。 ☆大縄跳びを見せたり、回したりする。(声)(活躍)</p>	<p>○大縄跳びを通して、友達や2年生と<u>気持ちを合わせよう</u>とする意識をもてるようにする。また、タイミングがあったときの嬉しさや満足感に共感し、次への意欲へつなげていく。 ☆<u>幼稚園児の立場に立って気持ちを考えながら</u>、大縄跳びができるようにする。</p> <p>○2年生と一緒に遊ぶ楽しさや<u>教えてもらったり、思いを聞いてもらったりした嬉しさ</u>を感じられるように伝えていく。 ○嬉しさや悔しさ、次はこうしたいなど感じたことや思いに共感しながら、幼児の中に自分もがんばったという達成感や満足感をもてるようにする。</p>
13:40	<div data-bbox="623 1354 1098 1459" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>4 おわりのあいさつ ・活動の振り返り      ・先生の話</p> </div> <p>○してもらって嬉しかったこと、出来て嬉しかったことを、発表する。(活躍)(共感・共有)(声) ○次も2年生との交流があることがわかり、喜ぶ。</p>	<p>☆幼稚園児との交流で感じたことを発表する。(活躍)(共感・共有) ☆次も幼稚園児との交流があることがわかり、期待をもつ。</p>	<p>○2年生の姿を見て、感じたことや思いを引き出し、<u>憧れの気持ちや就学への期待</u>へつなげるようにする。 ○「楽しかったね。」「遊んでもらえてよかったね。」と<u>感謝の気持ち</u>を伝えていくことで、次回の交流に期待感をもてるようにしていく。</p>

(3) 人権が尊重される環境づくり

①奉仕作業 → 砂遊び



「砂場で楽しく遊んでほしいなあ」  
お父さん方が大活躍



「ねえねえ、これかして。」  
「いいよ。一緒に使おうね。」

②あいさつ運動



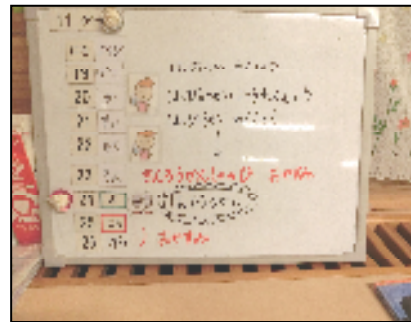
「おはようございます。  
先生待ってたよ。」  
あいさつ運動で毎朝子どもたちを出迎えます。



みんなの前で発表。  
「緊張したけど拍手をもらってうれしかった。」

③ホワイトボードによる掲示

「今日の予定は何か？文字が読めなくても絵カードがあれば分かります。」



④「いいところみつけた」人権南の木



「きれいな花がいっぱい咲きました。」  
お家の方がわが子のいいところを改めて  
見つける機会となりました。

「私の見つけた。」  
「いつもお手伝いしてくれてありがとう」  
って書いてある。



⑤栽培活動・飼育活動



きれいなお花が咲きますように。

お水を上げて大切にしないと、枯れちゃうよ。



「これ、かいこさまだよ。こわくないよ。」  
「やさしくそっとさわってみて。」



「ジャガイモがいっぱいできてる。」  
「みんなで育てたからかな？」

高校生のお兄さんにサツマイモの植え方を教えてもらいました。  
秋には大きなお芋になるといいなあ。



⑥連携交流活動

6年生と一緒にプール遊び。  
おんぶしてもらってうれしいな。



おばあちゃん、いつも優しくしてくれてありがとう。大好き。



2年生のお姉さんはなわとびが上手だね。  
教えてもらってうれしかった。



中学生のお姉さんが抱っこして絵本を読んでもらいました。  
優しくしてもらってうれしかった。



#### (4) 成果と課題

##### ① 成果

- 教師が人権とは何かを考え、意識して保育していくことで、子どものよさに気付くことができた。
  
- 幼児が友だちのよさを認め合ったり、「〇〇のために・・・しよう」などの思いやりの気持ちを持って生活したりする姿が見られ、人権教育の芽が育ってきたように感じる。
  
- 「いいところみつけた（南の木）」の取り組みを通して、保護者がわが子のいいところを認める機会になった。幼児は保護者に認めてもらったことにより、自信につながった。
  
- 日々の保育の中に幼児が発表したり活躍したりする機会を取り入れてきたことで、幼児が、自分に自信を持ったり、友だちのよさを認めたりする姿が見られるようになった。

##### ② 課題

- 教師が人権について学び、様々な人権に対する考えがあることに気付いた。次年度に向けて研修や話し合いを重ね、一人一人のよさを見つけ尊重し合える子どもの育成に努めていきたい。